

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 31-003

PDCA	事務事業名	新美南吉童話賞事業	部課等名	教育部 博物館 新美南吉記念館	担当	八谷	
					内線等	26-4888	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (3) 新美南吉の顕彰と南吉文学の普及 個別施策： ①企画展・童話賞事業					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	創作童話を募集することによって、郷土出身の童話作家「新美南吉」の人と作品、及び南吉のふるさと半田への関心を深めるとともに文学者を新たに発掘することを目的とする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	自由創作部門（一般の部、中学生の部、小学生高学年の部、低学年の部）・新美南吉オマージュ部門に分けて、6月1日から9月15日の間で募集。第一次、第二次審査を経て、受賞作品を選考する。入選作は、作品集「赤いろうそく」に纏め、関係各所に配布するとともに、記念館にて販売（1冊500円）する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①作品集「赤いろうそく」の作成	900	950	950	冊	
		②童話募集ポスターの配付	704	700	676	枚	
		③					
		事業費	2,778	2,915	3,024	千円	
		人件費	5,445	5,227	2,657	千円	
		総事業費	8,223	8,142	5,681	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①応募作品1編あたりの新美南吉童話賞事業コスト	4,099	4,548	2,918	円		
	②						
③							
成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位		
	①新美南吉童話賞応募数	実績値	2,006	1,790	1,947	編	
		目標値	2,300	2,500	2,500		
	②	実績値					
		目標値					
	③	実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	A 半田市内の小・中学校に直接募集要項を配布し、各学校に応募へのPRを行うことができた。このことにより、減少傾向にあり課題であった市内小・中学校の応募数が増加した。また、記念館に直接作品を提出していただいた方に参加賞を配布するなどしたことにより、全体の応募数も増加した。さらにポイントを絞ったPRを行っていく必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 多くの方に募集要項を手にとってもらい、「童話作品を書いてみよう」と思ってもらえるよう、募集要項を魅力あるものにしてPRを行っていく。また、ただ単に自作の童話を書いて応募するだけでなく、新美南吉やその作品に触れてもらえるように、新美南吉記念館に応募作品を直接持ってきた人にノベルティを渡す。				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①新美南吉童話賞応募数	2,500	編		